

本が見あたらないときは、かかりの人に聞いてね。予約もできます。新しい本は他にもあります。小初は1・2年、小中は3・4年、小上は5・6年をめやすにしてください。

<p>『キュリオとカメの大王』 齊藤 洋／作 ・「奇妙ならくだに会いに行こう」というキュリオにしぶしぶ付き合うべべ。ジャングルを進むと、こぶが3つある奇妙ならくだのトランペットに出会う。彼は、自分はむかしはろばだといい…。白いくまのべべと少年キュリオのお話。(小初)</p>	
<p>『防災室の日曜日 はんにんをつかまえろ』 村上 しいこ／作 ・ここは、まんねん小学校の防災室。災害があったときのために、いろいろな防災グッズがいます。肉屋のおばちゃんからポストの口をふさぐいたずらが流行っていることを聞いた防災室のみんなは、ある作戦を考え…。日曜日シリーズ。(小初)</p>	
<p>『ダッドリーくんの12のおはなし』 さく／フィリップ・レスナー ・持ち前のユーモアと素直な心が魅力的なダッドリーくんが、得意な笛を吹いてくれる校長先生や、毛皮の帽子をほしがる魔女など、いろいろな人と出会っておしゃべりをして…。やさしい気持ちになれる12の作品を収録。(小初、小中)</p>	
<p>『魔女のマジランさんケンタの世界一まずいクッキー』 石井 睦美／作 ・マジランさんのお店の試食用クッキーは、元気なときは世界一おいしくて、心が弱っていると世界一まずい。ある日、ケンタという男の子がお店にやってきて…。(小中)</p>	
<p>『ドアのむこうの国へのパスポート』 トンケ・ドラフト&リンデルト・クロムハウト／作 ・作家の家には、特別なパスポートを持った人しか入れないドアがある。子どもたちは、パスポートやビザの申請といった課題にむきあううちに、仲間や自分をより深く知っていき…。子どもたちへのエールに満ちた物語。(小中)</p>	
<p>『ポラン先生ときけんなマジックショー』 作・絵／北川 佳奈 ・北国にすむ、人づき合いが苦手な小説家のタヌキのポランと、南国に帰りそびれた自分勝手なマジシャン、カモのドリが、南に向かう列車の旅で起こす大騒動。いったい、どんな旅になるのかな?(小中、小上)</p>	
<p>『ベアトリスの予言』 ケイト・ディカミロ／作 ・記憶をなくして修道院のヤギ小屋に倒れていたベアトリス。はたして彼女は偉大なる予言書に書かれた少女なのか? 限られた人しか読み書きが許されなかった時代に「言葉」で運命を切り開いていく少女と仲間たちの絆を描く物語。(小上)</p>	

『ペンタとニック』 風野 潮／作

・飼いネコのニックがいなくなった! 事故にあったり、よそのネコとケンカして、動けんようになってたらどうしよう。悩む健太(ペンタ)を、車いすに乗ったクラスメイトが助けてくれて…。『毎日新聞』大阪版連載に加筆・修正。(小上)



『地図と星座の少女』 キラン・ミルウッド・ハーグレイブ／作

・美しかった島は姿を変え、友だちは森に消えた。13歳のイサベラは、真相を追って禁じられた森へと足を踏み入れる。星を読み、不思議な地図に導かれて-。伝説と魔法きらめく冒険ファンタジー。(小上)



『あきらめなかった男 大黒屋光太夫の漂流記』 小前 亮

・鎖国時代に北の孤島へ漂着。命は助かっても国へ帰れる見込みはなかった。それでもあきらめず、ついにロシア女帝から勲章をもらって帰国した日本人、大黒屋光太夫の不屈の大冒険を描く歴史アドベンチャー。(小上)



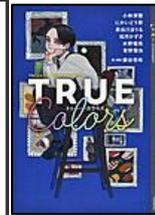
『メダカ姫』 堀 直子／作

・メダカを生かすためには、ほかの生き物を殺さなきゃいけないこともある。みんないっしょに生きていくってことは、できないもんかな? メダカを育てることになった小学4年生の創太が学んだ命の尊さとは…。(小上)



『TRUE Colors』 小林 深雪ほか

・女子校生活を楽しんでいた鈴。でも、共学に進んだ大好きな幼なじみの翔太には恋人ができたらしく…。「女子校か、共学か。それが問題だ!」など、中学生とジェンダーをテーマに描いた珠玉のアンソロジー。巻頭に漫画も収録。(小上、中)



『ぼくらは星を見つけた』 戸森 しるこ

・丘の上にあるお屋敷に、住みこみの家庭教師としてやってきた岬くん。ご主人のそらさんと、10歳の星、ハウスキーパーのシドの「家族」として迎えられ、あたたかい日々を過ごす。しかし、この4人にはそれぞれ秘密があって…。(小上、中)



『化け之島初恋さがし三つ巴 2』

・人間と妖怪と神さまが共存する場家之島。当主の血統を引く三津は、島の存続に関わる初恋相手を探せなかったが、魂の一部を切り離すことで島に残れることになった。しかし嫌がらせのようなことが、つぎつぎと起きはじめて…。(小上、中)



『鈴の送り神修行ダイアリー』 山下 雅洋

・不登校の中2の鈴は、夏休みに田舎に帰省したが、池に落ちて溺れてしまう。目覚めた場所は、この世とあの世の「あわいの世界」。鈴はそこで送り神の修行をして、死を通じて生きることを見つめ直す7日間を過ごし…。(小上、中)

